

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医療倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	橋村康二	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
医療人として、また社会人として生きていくうえで倫理観は重要となる。学ぶべき倫理観は、生命倫理、医療倫理、研究倫理など多岐にわたる。また、急激に進化するAIなど、社会のDX化に伴い、DXに関する倫理の学びも必要性が増している。本科目では、基本的な倫理学を学びつつ、これから社会で生きていく上で必要な倫理について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
課題提出状況、内容(90%)。出席状況(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
日々の学業生活や私生活において正しい行動について考え、倫理観を養う努力を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
自己の考えを持ちつつも、他者の意見を受容するよう心掛ける						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	倫理とは何か、自分なりに説明できる		配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	倫理について調べ、自分の考えを構築する			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	他者の意見を受容しつつ、自己の考えを再考する		配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	ディスカッションを通じて、倫理とは何か？を考え深める			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療現場における事例から、正しい判断、行動について考えることができる		配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	事例を基に、個人ワーク、グループワークを行う			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療現場における事例から、正しい判断、行動について考えることができる		配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	事例を基に、個人ワーク、グループワークを行う			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	DX推進に関わる倫理について説明できる		配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	DX推進に関して起こりうる倫理的問題について調べ、理解を深めるとともに、自己の行動規範を構築する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	DX推進に関わる倫理について説明できる	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	DX推進に関して起こりうる倫理的問題について調べ、理解を深めるとともに、自己の行動規範を構築する		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	研究倫理について調べ、まとめ、説明できる	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	研究倫理について調べ、他者と共有する		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	研究倫理について調べ、まとめ、説明できる	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	研究倫理について調べ、他者と共有する		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			